

地域とつながる 百年のイベント



第5回 百年

いきいきフェスタ 2025年10/26日 開催決定!!

■健康講座 ■消防車、救急車、パトカー、白バイ見学会 ■キッズダンス、コーラスグループ ■キッチンカー ■小物販売(アクセサリ、編み物)
イベント概要 ■ワークショップ(アクセサリ作り、パステルアート) ■お祭りブース(さかな釣り、ボール当て、ボウリング) ■体験コーナー
※上記イベントの内容は現段階での予定であり、変更になる可能性があります。詳細はホームページで随時告知します。



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

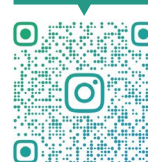
TEL.078-681-6111(代表)
FAX.078-681-6118

〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1
<http://www.kobe-century-mh.or.jp>



公式SNSもご覧ください

Instagram



LINE



表紙イラスト作者
トダユカさん

Take Free



神戸百年記念病院
公式マスコットキャラクター
ヒャクペン

神戸百年記念病院の地域の皆さまに向けた広報誌

すこやか

KOBE CENTURY
MEMORIAL HP
Est. 1907

vol.102

2025.08

- 特集「新しい救急医療のカタチ ～診察前検査システムを導入～」
- 連携医療機関のご紹介「なぐれ内科クリニック」
- おすすめ情報「いちの屋」



Toda
yuko

特集 新しい救急医療のカタチ — より身近で、より頼れる存在へ —

当院の救急センターでは、「断らない救急」を掲げ、看護師による初期対応や診療科の垣根を超えた連携など、新たな体制づくりが進んでいます。今回は、救急センター長の小林政義医師と、急性・重症患者看護専門看護師の山本克英看護師長に、新しい取り組みについて伺いました。

\\ 地域の皆さまの声より //

NO.
01

救急医療、今までの課題



長時間の待ち時間

受診すべきか迷う

医療現場が多忙

「このくらいの症状で救急に行ってもいいのかわからない」「ずっと待っているけど、いつ呼ばれるんだろう」

救急外来を利用されたことのある方なら、一度はそんな不安を抱いたことがあるかもしれません。

実際、地域の皆さまからも、受診の判断に迷ったり、待ち時間の長さに戸惑ったりという声が届いています。

医療現場では、多くの救急患者に限られた人員で対応しており、負担も大きくなっていました。



救急ユニット師長
山本克英 看護師
KATSUhide YAMAMOTO



救急センター長
小林政義 医師
MASAYOSHI KOBAYASHI

\\ 課題を解決するために //

NO.
02

新たな3つの改革



地域の皆さまの声や現状を受けて、当院では「安心して、納得して受診できる救急医療」の実現に向けた新たな体制づくりを進めています。

もっと安心して、もっと快適に救急外来を受診していただくために、これまでの課題を見つめ直し、新たな体制づくりに取り組んでいます。その柱となるのが、3つの取り組みです。

1

診察前検査システム (P.3 参照)

看護師の判断で、医師の診察前に必要な検査を先に行う新たな仕組みを導入。これにより、診療の質とスピードが向上し、待ち時間の短縮にもつながります。



2

休日夜間も安心な体制

受診をためらわずにすむよう、休日や夜間の体制を強化。診療科の垣根を越えた連携で、急な体調不良にも対応できる、より頼れる救急体制を整えています。



3

ホスピタリティの強化

接遇研修の実施や待合環境の整備を通じて、患者さんに安心して過ごしていただける、やさしく温かみのある救急外来をめざしています。



次のページは、診察前検査システムと救急医療を支える診療科の説明です。





NEW

受診の流れ

来院(Walk in※1)・救急車
他院から転送看護師による
問診・初期評価診察前検査
(必要時)医師による
診察～治療

ご帰宅・入院

ほとんど待たずに
医師による診察へ

実際の症例を見ていきましょう

CASE
01来院(Walk in)
高熱・せき(肺炎疑い)

救急外来へ来院

看護師が問診とバイタル測定

肺炎を疑い、血液検査とレントゲン

医師診察にて肺炎と診断

点滴抗生薬の投与開始

CASE
02救急搬送
強い腹痛(虫垂炎疑い)

救急車からの電話要請

看護師(トリアージナース※2)が受入判断

看護師が問診と腹部診察

血液検査と腹部CT

医師診察にて虫垂炎と診断

緊急手術へ

診察前に看護師が必要な検査を先に実施するこの新しい流れは、現場の細やかな判断力とチームの信頼関係によって成り立っています。

「この症状なら血液検査や画像診断を先に進めよう」といった判断を、経験豊富な看護師が行い、医師はその情報をもとに診察の精度とスピードを高めます。

検査が診察の“あと”という従来の常識を見直すことで、待ち時間の短縮だけでなく、より安全でスムーズな診療へとつながっています。

現場で生まれたアイデアを形にした、スタッフ主導の改善策です。

※1: Walk in: 予約なしで患者さんが直接ご来院いただくことです。
 ※2: トリアージナース: 患者さんの緊急度や重症度を判断し、診療の優先順位を決める看護師です。
 ※3: オンコール: 緊急時に備えて病院などに駆けつけられるよう自宅などで待機する勤務形態のことです。
 ※4: ERCP: 胆のうや膵臓の病気を調べたり治療したりする内視鏡検査です。

救急の
現場から

急性・重症患者看護専門看護師とは

あまり聞き慣れないかもしれませんが、「急性・重症患者看護専門看護師(CNS)」は、重い症状の患者さんにいち早く気づき、必要な対応を判断・調整できる「救急看護のスペシャリスト」です。大学院で専門的に学び、現場での豊富な経験をもとに、医師や他のスタッフと連携しながら、より

質の高い救急医療を支えています。当院ではこの専門看護師が中心となって、診察前に必要な検査を見極める仕組みづくりにも関わっています。安心・安全な救急体制の影には、こうしたプロの存在があります。

山本看護
師長は
専門
看護
師で
す

総合診療科

何科にかかればいいかわからないときも、最初の窓口にも。

- 特定の臓器や疾患にかたよらず、幅広い症状を診る。
- 治療のエビデンスとチーム医療を重視し重症患者さんの集中治療を行う。また透析の患者さんにも対応している。
- 専門医が中心となって丁寧に診察し、必要に応じて専門診療科へつなぐ。

消化器センター

腹痛や吐血など、消化器の急変にすばやく対処。

- 消化器内科と外科が連携し、幅広い疾患をカバーする。
- 消化管出血や胆石など、緊急性の高い疾患にも対応している。
- 夜間も内視鏡のオンコール※3体制を整備し、ERCP※4も実施している。

循環器センター

胸の痛みや息切れなど、心臓の異変は迅速に診療。

- 心筋梗塞などに備え、24時間緊急カテーテル検査を実施している。
- 救急隊からの直通電話や夜間オンコール体制を整備している。

整形外科

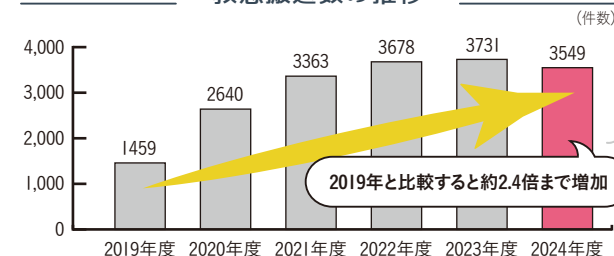
骨折やケガなど、外傷全般にも切れ目のない体制を。

- 整形外科医が常時在院し、初期対応を担う。
- 救急要請が集中した際も、外科と連携して受け入れ体制を維持している。

詳しくはコードを読み取ってください。



救急搬送数の推移



「またここで診てもらいたい」そんな安心を感じていただけるよう、チームで連携し、「救急の新しいカタチ」を築いています。



当院では、地域の医療機関(かかりつけ医)との協力体制を強化し、地域全体として患者さまにより質の高い医療を提供していくことを目的に「連携登録医制度」を制定しています。ここでは、常日頃よりご協力をいただいている連携医療機関の紹介をしていきます。

今回は、兵庫駅前にある
ながれ内科クリニック
永礼 智基院長に
お話を伺いました。

ながれ内科クリニック



所在地 神戸市兵庫区駅南通 1 丁目 2-3 3 階
(1 階がダイソーのビル)

電話 078-954-5200

診療科目 内科、糖尿病内科、消化器内科

診療時間 午前 9:00 ~ 12:00
午後 16:00 ~ 19:00

休診日 木・土の午後、日曜、祝日

対話を大切に、専門性も活かして、 患者さまをトータルで診る " 昔ながらのお医者さん "

私が目指すのは、体がトータルで元気になっていただくことです。いわゆる " 昔のお医者さん " のように、そこに行けば何でも診てもらえるという、患者さまにとって安心できるクリニックです。

昨今の医療はどんどん細分化・専門化され、1 つの体を分けて診る方向へ、またそれが推奨されているかのように進んでいます。私自身も、大学病院などに勤めながら、内科・糖尿病・消化器といった専門医資格の取得をしてきました。その専門性を活かして、患者さまの体を高いレベルでトータル的に見ることを当時から思っていたからです。

患者さまのなかには医師とのやりとりで遠慮の気持ちを持

たれる方も少なくないと思いますから、まずは患者さまのお話に耳を傾け、しっかりとしたコミュニケーションをとること、その上で患者さまの真意がどこにあるのかをきちんと判断し、望まれる医療を適切に提供・提案していくというのが当院のポリシーです。" 昔のお医者さん " のスタイルに最新の検査や治療を組み合わせ、基礎の上に最新の医療を積み重ねるとというのが正しい方法だと考えています。

ご自身の体で困っていることがある、不調が続いてスッキリしないなど、どなたでもお気軽にご来院ください。あなたのお話を、ぜひともお聞かせいただければと思います。



HPIはこちら▲

神戸百年
記念病院から

永礼先生はとにかくお話ししやすい先生で、診察室での患者さまとの対話の様子が目に浮かぶようでした。クリニックの内装も、ウッディーで優しい雰囲気の素敵な空間だったことも印象的でした。仕事終わりのビールが楽しみとおっしゃる永礼先生。当院への忌憚ないご意見もいただきました。地域を支える医療を共に取り組んでいきたいと思っています。取材のご協力ありがとうございました。

連携登録医をご希望される医療機関様へ

「連携登録医 登録申込書」をご用意しております。ご希望の場合は、地域医療総合支援センター(☎078-681-6250)までご連絡ください。

地域とつながるヒュクネンの活動

神戸市婦人団体協議会様 主催 あじさい講座

開催日時 2025年4月25日 開催場所 神戸市立婦人会館

『健康で元気に100歳を目指す』をテーマに開催されている「あじさい講座」において、当院眼科の松岡 大貴医師が「糖尿病と眼の病気」をテーマに講演を行いました。



開催日時 2025年6月27日 開催場所 神戸市立婦人会館

当院栄養科の丸山 泰世管理栄養士が「夏バテ予防について」をテーマに講演を行いました。



神戸百年
記念病院職員の

おすすめ情報

いちの屋

サクッとジューシー、心も満たす
ランチ定食の王道を提供する「いちの屋」さん！

和 田岬駅より徒歩1分の好立地にある海鮮地鶏料理「いちの屋」さんは、地元で愛される定食の名店。屋はボリューム満点のランチ定食を提供しています。中でも人気を誇るのが「チキン南蛮定食」と「アジフライ定食」です。まずご紹介したいのが「チキン南蛮定食」。大ぶりの鶏もも肉をカラッと揚げ、特製の甘酢ダレにくぐらせたあと、たっぷりの自家製タルタルソースがかけられています。このタルタルは、玉ねぎやゆで卵の食感をしっかりと残したタイプで、コクがありながらも重すぎず、酸味とのバランスが絶妙。ご飯がすすむ味付けで、ボリューム満点なのに最後まで飽きることなく食べきれるのが嬉しいポイントです。

一 方の「アジフライ定食」は、まずはその大きさに驚きます。海鮮料理店ならではの新鮮なアジを使用しており、揚げたての衣がサクサク、中はふっくら。素材の旨みをしっかりと引き出した丁寧な仕上がりで、ソースをかけても、そのままでも美味しくいただけます。添えられたキャベツと一緒に頬張れば、香ばしさとさっぱり感が絶妙にマッチ。まさに「定番の良さ」を再確認できる一品です。



ま た海鮮と地鶏のどちらも食べたい欲望をかなえてくれる「唐揚げ刺身定食」もあり。数量限定の人気メニューです。どのメニューも、炊き立てのご飯と味噌汁、小鉢がついた充実の定食スタイルで、しかもリーズナブルな価格も嬉しい。夜は居酒屋メニューも盛りだくさん。当院のスタッフも常連で来ているそうです！気取らず、けれど丁寧に仕上げられた逸品を、ぜひ味わってみてください。

新鮮な刺身と人気の
唐揚げのセット！贅沢です！



海鮮・地鶏料理 いちの屋

神戸市兵庫区笠松通7-3-24 TEL 078-682-0032
営業時間：月曜日～金曜日
昼11:30～13:30 / 夜17:00～22:00 (L.O. 21:00)
土曜日：夜17:00～22:00 (L.O. 21:00) ※臨時休業あり
定休日：日曜日・祝日

